

南紀生物

第54巻 第1号

平成24年6月発行

大和茂之・遊佐陽一・田名瀬英朋：南方熊楠の「ウガ」の標本について……………	1
小菅文治：石垣島大浜におけるヒメシオマネキの繁殖期……………	5
川上寛子・高橋奏恵・溝口恵敬・山元 晃・山本好和：和歌山市紀伊風土記の丘の 地衣類……………	8
諏訪 剛：和歌山県沿岸各地におけるヒジキ幼芽の生長特性の違い……………	13
久保田 信・田名瀬英朋：和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所北浜に 最近9年間(2003年-2012年)に漂着したウミガメ(爬虫類)……………	17
明石英幹・滝川祐子・倉持卓司・吉松定昭・野村美加・多田邦尚：瀬戸内海備讃 瀬戸海域から得られたドングリシャミセンガイ <i>Lingula rostrum</i> (SHAW, 1798) の記録……………	19
中尾史郎・景井直人・増田倫士郎：京都府におけるイトアメンボの再検討と新産地……………	22
平嶋健太郎・丸山秀人：和歌川河口干潟の魚類相……………	24
湊 宏：小大下島(愛媛県)の陸産貝類, 特にシメクチマイマイと タダアツブタムシオイについて……………	31
小川数也・野村恵一・山田豪朗：分類形質としての刺胞の再検討—IV. ムカシサンゴ科・ハナヤサイサンゴ科……………	37
倉持卓司：三浦半島の潮間帯より採集されたムラサキクルマナマコ(ナマコ綱： 無足目)の生息環境……………	43
土井敏男：神戸市内における背中線型ヌマガエルの新産地……………	45
土岐頼三郎・江川和文：和歌山県産ミスズイ(軟体動物門：腹足綱：アキガイ科) の卵囊とその幼生……………	48
中尾克比古・平嶋健太郎：紀伊半島初記録のナンヨウボウズハゼ <i>Stiphodon percnopterygius</i> WATSON et CHEN……………	50
西 栄二郎・柚原 剛・多留聖典・陶山典子：福島県松川浦干潟と千葉県市原沿岸 の干潟から採集されたヒガタケヤリムシ <i>Laonome albicingillum</i> (多毛綱・ケヤリムシ科)……………	52
倉持卓司・厚井晶子・長沼 毅：京都府阿蘇海で採集されたコウロエンカワヒバリ ガイ(軟体動物門：二枚貝綱：イガイ科)……………	55
榭谷英樹：兵庫県家島諸島で発見されたタコクラゲ……………	57
山本修平：近畿地方におけるバクチノキ(バラ科)の分布……………	59
中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文：和歌山市加太周辺の貝類相 Ⅲ……………	61
朝井俊亘・小田真奈美・岡本なずな・川端 青・久保喜計：和歌山県太地沖で漁獲 されたダイナンウミヘビ <i>Ophisurus macrorhynchus</i> およびマアナゴ <i>Conger myriaster</i> の消化管内容物……………	67
勝見啓吾・齋藤 葵・林 博之：汽水に順化させたカワヨシノボリの塩分耐性……………	71
土井敏男：ヌマガエル幼体による大型のミミズに対する捕食行動の観察例……………	73
久保喜計・武内啓明・山野ひとみ・朝井俊亘：和歌山市磯ノ浦沿岸で得られた タコブネ(頭足綱, タコ目, アオイガイ科)……………	77
久保田 信・山口一夫・岸田拓士：和歌山県田辺湾に最近の20年間に漂着・座礁・ 迷入したクジラ類(哺乳類)……………	79
上出貴士：2010年10月から2011年3月の和歌山県日高郡日高町高家地区への ハイイロチュウヒ <i>Circus cyaneus</i> (タカ目 Falconiformes, タカ科 Accipitridae) の出現状況……………	81
雑 報：会記事・会告・受贈文献・新刊紹介・会則・投稿規定・あとがき・ 夏の観察会の案内……………	

THE NANKI SEIBUTU

Published by

THE NANKI BIOLOGICAL SOCIETY

南紀生物同好会